



神のことはつながれてはいない



副学院長

世良田湧侍

「私は、福音のために、苦しみを
受け、犯罪者のようにつなが
れています。しかし、神のこ
とは、つながれてはいません。」
(IIテモ二9)

17世紀のボヘミアの教育者ヨ
ハン・コメニウスは、教育の機
会の拡大とその普遍性を求めて

「あらゆる人々に、あらゆる事柄
を教える普遍的な教授学」(大教
授学・ディアクティカ・マグナ)
という書を著しています。その
当時は30年戦争後の荒廃した東
欧であり、まだ一般教育さえ普
及していなかった時代のことで
したから、聖書教育と一般教育
とはともに教育の機会と普遍性

と

(国民学校)が求められて当然
のことでした。今日のわが国の
ように一般教育が十分普及して
いる状況では、すべての人々に、
特に教会の信徒に聖書の教育が
普及されなくてはならない時で
あると考えます。

お茶の水聖書学院は過去15
年、ごくわずかな奉仕ですが、
特に首都圏のキリスト教会の信
徒を対象として聖書教育を中心
としたクラスがもって参りまし
た。全国の信徒数が人口の1%
以下という中で、しかも限られ

た首都圏の兄弟姉妹が通学でき
る教室でのクラスでしたが、そ
こは熱意、熱心、熱烈な意欲に
満ちた学舎となりました。学院
生の学ぶ姿に、教えているはず
の教師が教えられることがしば
しばで、学ぶための時間と財を
惜しまぬ方々にいつも感銘を受
けてまいりました。そのような
校風は今でも続いております。

さて、今年度も夏休みを越え、
秋に向けてさらに聖書と取り組

む学院生とともに、この暑さを
過ごしたいと存じます。

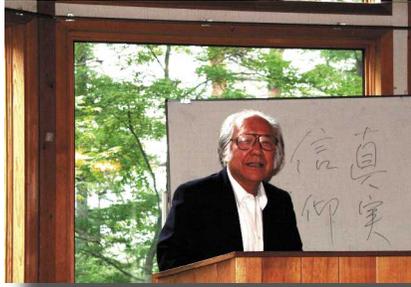
ところで、4月からOBIの
教室の内容が一部DVDに収録
され、ネット・コース(通信教育)
として開講いたしました。これ
によりOBIに通学できない距
離におられる方々に聖書を学ぶ
機会を提供できるようになりま
した。DVDで授業を見て、イ
ンターネットで通信しますが、
手紙、ファックスの通信も可能
です。

これはOBI・netという
ホームページを中心に、学びの
システムが備えられています。
(<http://www.obinet.com>)。わ
が国のすべてのキリスト者に
聖書の学びの機会を提供するO
BIにぜひ一度ご連絡ください
(obi-net@leaf.ocn.ne.jp)。

神のことはつながれてはい
ないからです。聖書を学ばれる
皆様の上に神の豊かな祝福をお
祈りいたします。

夏季スクーリング特集

今年も7月11～13日まで軽井沢恵みシャレーにおいて第10回夏季スクーリングが開催されました。講師としてアレセイア聖書研究所所長の山口昇師をお迎えしました。



「黙示録七つの教会」講義要旨

講義・山口昇先生

- I 「黙示録の遺跡を訪ねて」
七つの教会の地とパトモス島の
スライド鑑賞。雰囲気味わう。
- II 「霊の耳で悟りなさい」
行いと労苦と忍耐のエペソ。

忘れているははじめの愛にかえり、悔改
めの実を結びなさい。

III 「死に至るまで忠実であれ」

迫害の中で清貧に生きるスミルナ。
肉の命は失っても永遠の命を与える主
に忠実でありなさい。

殉教者のでたベルガモ。だが内部か
ら崩壊する問題がある。両刃の剣を持
つ方の前に悔改めよ。

IV 「目をさまし続けよ」

信仰の成長しているテアテラ。不
品行と偶像を避け、キリストの教えを
しっかりと持っていない。

無気力な信仰のサルデス。目をさま
し、死にかけている名ばかりの信者を
励ましなさい。

V 「わたしは：知っている」

忠実な少数精鋭のフィラデルフィ
ヤ。持っている信仰の質をしっかりと守
りなさい。

うぬぼれているラオデキヤ。その信
仰に我慢できない。霊的に貧しく裸で
あることを自覚しなさい。

今回の講義を通してみこばを現実
化して引き寄せ、実感することの大切
さを学んだ。

まとめ 本科三年・日名富子

感想

夏季スクーリングを終えて

本科二年 菊田洋子

昨年入学させていただき、今年は二
回目の参加でした。日常生活から離れ、
心騒がすことからも解放され、静まっ
て神様と向き合える時になりました。

チャペルの窓越しに木枝の緑や小鳥
の飛び交いを目にしながら賛美とみこ
とばの早朝礼拝が始まり、山口昇先生
による黙示録の講義に毎回魅了されま
した。先生は深い知識と多方面に渡
る豊富な話題を、ユーモアに満ちた口
調で語ってくださいました。聖書の奥
義を十分に教えていただき、心の目を

しっかりと開いていただきました。

良き師、兄弟姉妹、先輩、スタッ
フの方々との交わりも豊かで《無条
件の愛に身を委ねる幸い》を味わい、
感謝、感激、感動の日々でした。

惜しみなく与えられた碩学

本科二年 伊藤洋子

滴る緑、霧の風流れる学び舎、静
かに包み込む青に溶けた恵みシャ
レーのひとつとき。これこそ聖別さ
れた神の時です。昨年は堀肇師から
「共感力」という言葉を初めて教え
ていただきました。

今年山口昇師が黙示録を解いて
くださり「地面から聖書を読む」と
教えられました。「地質、土壌から
みこばを吸い上げる」のだそうで
す。

先生のお話ぶりは学者然としたも
のではなく、寄席にでもいるように
洒脱で、まさに碩学の重厚さを見さ
せていただきました。

イスラエル、エジプトへ旅して、
分ったのですが、あの荒野を知らな
ければ、聖書は分らないと実感しま
した。来年のこの「ひとつとき」が、
待たれてなりません。



開講したネットコース

2005年4月からネットコースが開始しました。神様はOBIの歴史にまた新しい画期的な一頁を加えてくださいました。数名のモニターが受講を始めています。秋からはさらに5科目が増設されます。

卒業生からスタッフへ

感謝な歩み

坪井夏夫

去年2004年8月、ネットコースシステム創設の新企画が開始されました。それはDVDとインターネットを利用していつでもどこでも学びができるシステムです。どんな遠隔な地へも学びを提供できるのです。そのためにはコンピュータに関する専門的な技術が必要であり、受講者の要求に充分答えられるシステムを構築し、

運用していくことが要求されます。学院では今までクラスをビデオ撮影したことがなく、編集やDVD作成も新しい試みでした。私は以前、企業で、生産システムコンピュータ化の一員として、コンピュータによるシステムの開発に従事していました。今回の新企画で再び開発の仕事に携わる事となり、かつての経験を生かすことができるのはたいへんうれしいことです。途上で様々な問題にも遭遇いたしました。が概ね計画通りに進めることができました。

まずビデオ撮影と編集、DVD作成から始まり、次に最新鋭の技術を取り入れてシステムの土台である公開サーバーを構築し、ホームページの設計とブログラミング、試験運転へと進み、今年の4月にはモニター生を募って公開となりました。

このネットコースシステム

ネットコース受講生募集中!

2005年開講中科目

ヨハネの福音書	岡本昭世師
新約聖書概観(下)	増田誉雄師
旧約聖書の思想と概説(下)	西 満師
ヨハネの黙示録	島田福安師
あかし文章講座	三浦喜代子師

2005年秋公開予定科目

日本教会史(上)	伊藤淑美師
聖書重要教理(上)	増田誉雄師
旧約聖書概観(上)	世良田湧侍師
旧約聖書の思想と概説(上)	西 満師
臨床牧会学入門(上)	堀 肇師

2006年春開講予定講座

日本教会史(下)	伊藤淑美師
聖書重要教理(下)	増田誉雄師
新約聖書神学	島田福安師
旧約聖書概観(下)	世良田湧侍師
旧約聖書の思想と概説(中)	西 満師
臨床牧会学入門(下)	堀 肇師

は、今までの通信教育とは異なり、インターネットを利用してレポートの提出と採点の通知、質疑応答ができ、教師と受講者が場所と時間に制限されずに作業を進められるようになっていきます。さらに近い将来はインターネット上でネットコース生同士が交流できるようにし、通学生でなければ体験できない交わりの場を、システムの中に実現していきたいと考えています。

す。

現在は5科目が開講されています。現在5科目が開講されていますが、今秋にはさらに5科目がリリースされる予定です。現在はモニター期間としてシステム利用料が半額になっており、学院生、卒業生の方々は登録料や選考料が免除されます。教室で学びながら、さらにご自宅ではネットコースで学ぶというのはいかがでしょうか。

募金コンサート報告

第2回OBI募金コンサート「植木朋子独唱会」が、6月18日にOCCの8階チャペルにて開催されました。当日は130人の方々が来場され、賛助出演にホルンの宮田四郎氏、ヴァイオリンの大津千代子氏、オルガン・ピアノに内藤真奈氏を迎え、主のご臨在をおぼえつつ、豊かなひとときを持たせていただきました。

なお、コンサートの利益は学院の働きのためにささげられました。皆様のご協力とお祈りを心より感謝申し上げます。

音楽科 近藤はるみ

募金コンサートを終えて

植木朋子

皆様のお支えとお祈りにより、募金コンサートが無事に終えることができました。感謝致します。

独唱会のプログラムの選曲に際しては、次のような思いでのぞ

ました。

キリストへの讚美

主への祈り

聖書……御言葉の力

今回のために1曲だけ新たにオリオ「マカベウスのユダ」よりアリア「天の父よ」（ヘンデル作曲）をレパートリーに加えました。勝利の讚美です。

時を告げる角笛「ホルン」のやわらかな響きや、ヴァイオリン、ピアノ、オルガンの音色に支えられ、共に主を讚美するひとときを皆様方と



共有でき、喜びでいっぱいです。

ただ一つのフレーズ、一つの御言葉でも、皆様の心に届きますように、福音の歌詞が魂に響くように、歌う前にいつも願い祈って参りました。その祈りに主が答えてくださり、祝福をもつて導いてくださいました。感謝しつつ心から御名を崇めております。

「讚美は力なり」 詩篇十三六

聴衆者の声

「世の中に歌を歌う人はたくさんおられることですが、魂で歌う人は多くありません。……心の底から神様に賛美を捧げていらっしやいました。うれしくて涙がこぼれそうになりました。本当にありがとうございました」

「イエス様も大変お喜びくださったことでしょう。……主に対する感謝と賛美のお気持ち溢れたコンサートでしたね。1曲ごとに油が注がれましたね」

【教会音楽デーのご案内】

年に1度の教会音楽デーは、今年で6回目を迎えます。「教会音楽デー」って何デー？という方のために、少し紹介させていただきます。

『教会音楽デー』とは、OBI教会音楽卒業生のための特別講座を広く教会の方々にも開放し、学んでいただくとう始められたものです。その内容は講義と演習「聖書と音楽」でみことばに裏付けられた賛美の実践を目的に学びます。これまで「詩篇の賛美」「会衆賛美の移り変わり」「宗教改革期の賛美」など、私たちの教会生活にとって、とても有意義な学びがなされてきました。今年には私たちが最も基本的なテーマの「礼拝と賛美」について学びます。実践面では「聖歌隊の役割」を取り上げます。聖歌隊をリードしている方々、歌っている方々は、聖歌隊の人数が集まらないとか、どんな曲を歌えばいいのかと、いろいろ苦労が絶えないでしょう。

今回の『教会音楽デー』ではいくつかの教会の聖歌隊の賛美を聴きながら、私たちも学びたいと思っています。（聖歌隊として参加して下さる教会を募集しています。ともに苦労を分かち合いましょー！）奮ってご参加ください。

（申し込みなど詳細についてはチラシをご覧ください）

主と教会に仕える同窓生たち

OBIの同窓生は創立14年にして135名になりました。多様な分野で、主の器として活躍しておられる方々を順次ご紹介してまいります。

古淵伝道所の歩み

有田 貞一氏（第3期生）

美栄子氏（第8期生）

OBI NEWSに、古淵伝道所の歩みについて寄稿する機会が与えられ、感謝します。学院長を始め諸先生方、同窓の方々が古淵伝道所のために祈り、励ましてくださっていることを常日頃、感謝しております。

私たちが救われたのは兵庫県の西宮市に住んでいた時です。近くの教会で持たれた伝道集会で家内が救われたのが始まりとなり、私、母、いとこ、義母、叔父、叔母、子どもへと救いのみわざが伝播していきました。救いの喜びは大きなものであったため、信仰と同時にこの福音を伝えたいという気持ちが大大きく湧いてきました。まもなく東京都狛江市に転勤となり、経堂めぐみ教

会（増田誉雄牧師）に籍をおくようになりました。先生が非常に教育熱心であったので、学びの機会が多く与えられ非常に幸いでした。

その頃、お茶の水クリスチャン・センターで開始されたレイマンリーダーシップセミナーで学ぶ機会も与えられました。これがやがてお茶の水聖書学院となり、今日にいたっております。家内共々、



ここで学ぶ機会が与えられ、教会の奉仕に大きな助けとなっています。

その後、相模原市に移り、家庭集会を開始しました。近隣の方々に福音を伝えたいという気持ちからです。しかしこの

中で私達の家庭にいくつかの試練が襲ってきました。仕事上の苦勞、両方の親の介護、子どもたちの病氣などです。しかしそのような主の訓練を通して神様をより身近に感じ、やがて試練をも感謝することができるようになりました。これらの体験を通して福音を伝えたいという思いがさらに膨らみ、2003年2月9日に経堂めぐみ教会（増田誉雄牧師）の株分け教会として、ECチャーチ古淵伝道所がスタートすることになりました。家庭集会を開始してから8年後のことです。古淵伝道所は始まったばかりの小さい群れですが、受洗者も与えられ、神様は着実に歩みを導いてくださっております。特に、地域に根ざしたコミュニティが形成されていくことを祈り求めています。



ります。

OBIの同窓の方々も応援メッセージにかけてくださったり、協力してくださっております。OBIの力を間近に見る思いがしております。また神様がご自身のご計画を進めておられると思うことが、いくつかあります。

OBIの同窓生には人生の経験豊かな方々が多数おられますから、これからもますます多方面に潜在的な可能性を具体化していかれると信じます。OBIの歩みの一歩一歩を主が導いてくださっていることを確信しています。詩篇37篇5節。



OBI会計報告

御名を崇めます。OBIは第4期を終りましたので、ご報告申し上げます。既に中間決算にてご報告致しました通り第4期の経済環境は、依然厳しい状況にありましたが私たちは前期末に受領致しました山崎製パンの多額の献金を活かすために、聖書科では講座の充実と事務の効率化、音楽科では募金コンサート等行事の充実に努めました。更に地方と都市の格差、受講者の高齢化、IT進歩に対応するべく、インターネットを活用する通信教育の新事業ネットコースをスタートさせ

ました。インターネットを利用して、全国の信徒にOBI講師陣の講義を届け、レポートの添削を通して聖書理解の水準を高め、またスクーリングにおいて交わり霊的向上を図ろうとするものであります。

時代の趨勢をしつかりと把握し、資金・人材・技術を駆使し、力を十分に發揮して、目的達成に努める所存であります。何卒、関係各位の御指導、御鞭撻の程、御願い申し上げます。尚、今期は、資金と業務の効率化のため決算期を2月末と致しましたので11ヶ月決算を行いましたことをご報告申し上げます。

OBI創立15周年感謝のご挨拶
「主に感謝し、御名をほめたたえよ。」詩篇100篇4節
主の不思議のみわざとして始まりました当学院も15年の節目を迎えるに至りました。今日に至るまで皆様のお祈りとご支援を心より感謝申し上げます。今後も「21世紀の宣教を担う主の器の育成」のために力を尽くして参りたく、ここに伏してさらなるお祈りとご協力をお願い申し上げます。

時代の趨勢をしつかりと把握し、資金・人材・技術を駆使し、力を十分に發揮して、目的達成に努める所存であります。何卒、関係各位の御指導、御鞭撻の程、御願い申し上げます。尚、今期は、資金と業務の効率化のため決算期を2月末と致しましたので11ヶ月決算を行いましたことをご報告申し上げます。

理事長・学院長 増田誉雄

OBI 第4期財務状況
(単位千円)

前期繰越金	6,087
当期収入	
授業料収入	8,701
行事収入	1,605
献金収入	3,772
助成金収入	3,000
その他収入	169
収入計	17,247
当期支出	
学事支出	8,392
行事支出	1,532
経費支出	11,174
その他支出	198
支出計	21,296
後期繰越金	2,038

◎第4期の特別献金御芳名録
(アイウエオ順、敬称略)

(一) 個人の献金

飯嶋勅 飯島延浩 伊藤淑美
井野澄子 金本悟 加茂康一
国東恵子 小林喜久男 杉山礼子
須子都 羽鳥明 増田慶子
増田誉雄 真尾邦子 三浦喜代子

(二) 団体の献金

OBI同窓会、第十一回卒業生
◎OBI後援会献金御芳名

(アイウエオ順、敬称略)

(一) 維持会員
有田貞一 有田美栄子 飯嶋多稼夫
猪狩友行 小野沢恵子 金本悟
木下順子 国東恵子 窪井節子
窪田淳子 黒澤すぎの 小林喜久男

齊藤とし子 佐藤敬 佐野謙次
佐野寿美子 島田敬子 杉山礼子
須子都 関節子 世良田湧侍

千田哲子 手塚千代子 田中恵子
中川和代 浪井弘子 西 満
羽鳥明 平松庸一 藤原導夫
増田誉雄 増尾善文 松岡常子

三浦喜代子 三浦秀弥 宮本三枝子
森 登 森本馥 依田和子
米田由起子 脇阪勇

(二) 賛助会員

阿江美千代 阿部恵子 伊藤洋子
植木朋子 王永天 奥津晃
菊田洋子 国東恵子 佐藤和江
佐野盾一 佐野謙次 関口悦子
世良田湧侍 須子都 高橋真理子
長橋和彦・晴子 中島聡一郎
中村四郎 日名富子 増田誉雄
三浦秀弥 宮本三枝子 矢島清雄
山本敏夫 脇阪勇

(三) 団体会員

荻窪栄光教会
大峰バイブルホーム前橋上泉町教会
井野澄子 金本悟 加茂康一
国東恵子 小林喜久男 杉山礼子
須子都 羽鳥明 増田慶子
増田誉雄 真尾邦子 三浦喜代子